

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オレンジキッズ野並		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんのことを理解し、本人や保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画が作成されている。	定期的な面談を行い、保護者の方々の思いやお子さんの様子の聞き取りを行っています。保育士や児童指導員などの有資格者が専門的な視点で療育を行い、丁寧に記録作成しています。	決められた期間にのみならず、必要に応じて面談を行い、保護者の方々とのコミュニケーションを充実させていきます。学校・家庭との連携をさらに密にし、信頼関係を築いていけるよう努めて参ります。
2	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明をしている。	放課後等デイサービスを初めてご利用になられるお子さんもいますので、支援プログラムの内容やタイムスケジュール、利用者負担にかかる金額など、丁寧に説明できるように努めております。	契約書や重要事項説明書の文言のみでは分かりにくい説明もありますので、さらに詳細な説明を口頭でも行い、納得した上でご契約いただけるように今後も留意してまいります。
3	お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている。	支援システムのHuGを利用し、保護者の方々のスマートフォンから当日の支援記録が手軽に確認できるようにしています。支援中の様子など、なるべく詳細にお伝えしています。	写真や動画の撮影も行い、折を見てさらに視覚的に分かり易い形で様子をお伝えできるよう、方法を検討してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のお子さんや活動する機会が少ないこと。	長期休暇など時間にゆとりがある日には、地域の児童館などに出かけることがありますが、その回数が少ないことによって全ての契約児童に提供できていないということ。	夏祭りの開催時や、地域の児童館に出かけるイベントでの告知をしっかりと行い、ニーズに応えられるようにしていきます。
2	家族が参加できる研修会や情報提供の機会が少ないこと。	土日祝にお休みをいただいているため、研修会を開催したりする機会が少ないこと。	ニーズに合わせて研修会などの開催を検討していきます。また、地域で行われる予定の研修会などがあれば、情報共有をしています。
3	事業所の設備等が、障害特性に応じてバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていないこと。	お子さんの療育室が2階にあること、入口に段差があることなど、身体障害のある方へのバリアフリーについては未熟な部分が多いこと。	階段に手すりを設置しました。他、改善が可能な部分については検討を重ねていきます。